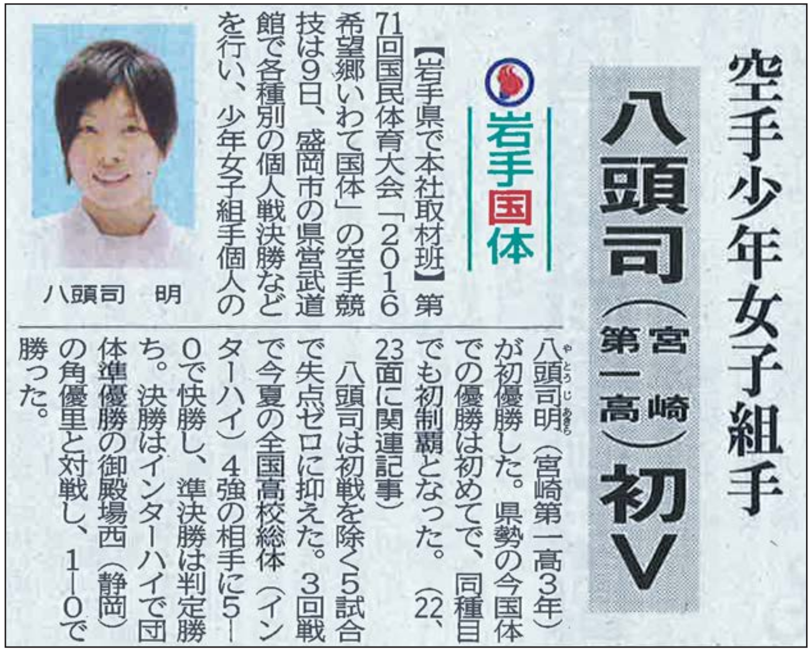
平成28年10月12日(水)
宮崎第一高等学校

宮崎日日新聞掲載記事

いわて国体　空手少年女子組手「優勝!」

©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited



空手少年女子組手

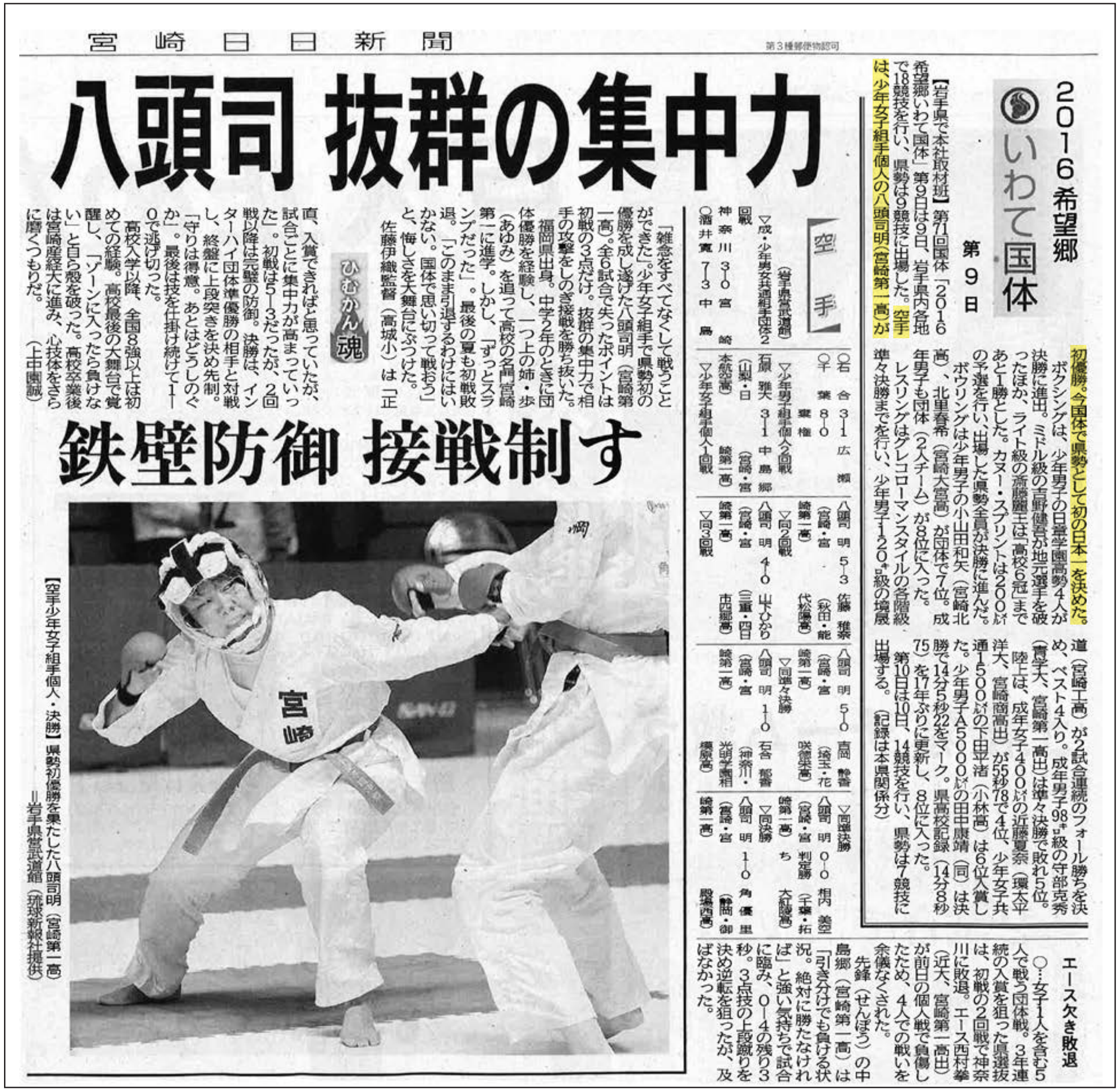
八頭司（宮崎第一高）初V

岩手国体

【岩手県で本社取材班】第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」の空手競技は9日、盛岡市の県営武道館で各種別の個人戦決勝などを行い、少年女子組手個人の八頭司明（宮崎第一高3年）が初優勝した。県勢の今国体での優勝は初めてで、同種目でも初制覇となった。（22、23面に関連記事）

八頭司は初戦を除く5試合で失点ゼロに抑えた。3回戦で今夏の全国高校総体（インターハイ）4強の相手に5―0で快勝し、準決勝は判定勝ち。決勝はインターハイで団体準優勝の御殿場西（静岡）の角優里と対戦し、1―0で勝った。

八頭司　明



宮崎日日新聞

第3種郵便物認可

2016希望郷 いわて国体 第9日

【岩手県で本社取材班】第71回国体「2016希望郷いわて国体」第9日は9日、岩手県内各地で18競技を行い、県勢は9競技に出場した。空手は、少年女子組手個人の八頭司明（宮崎第一高）が初優勝。今国体で県勢として初の日本一を決めた。

ボクシングは、少年男子の日章学園高勢4人が決勝に進出。ミドル級の吉野健君が地元選手を破ったほか、ライト級の斎藤麗王は「高校6冠」まであと1勝とした。カヌー・スプリントは200メートルの予選を行い、出場した県勢全員が決勝に進んだ。ボウリングは少年男子の小山田和矢（宮崎北高）、北里春希（宮崎大宮高）が団体で7位。成年男子も団体（2人チーム）が8位に入った。

レスリングはグレコローマンスタイルの各階級準々決勝までを行い、少年男子120キロ級の境晟道（宮崎工高）が2試合連続のフォール勝ちを決め、ベスト4入り。成年男子98キロ級の守部克秀（青学大、宮崎第一高出）は準々決勝で敗れ5位。

陸上は、成年女子400メートルの近藤夏奈（環太平洋大、宮崎商高出）が55秒78で4位、少年女子共通1500メートルの下田平渚（小林高）は6位入賞した。少年男子A5000メートルの田中康靖（同）は決勝で14分5秒22をマーク。県高校記録（14分8秒75）を17年ぶりに更新し、8位に入った。

第10日は10日、14競技を行い、県勢は7競技に出場する。（記録は本県関係分）

八頭司 抜群の集中力

鉄壁防御 接戦制す

ひむかん魂

「雑念をすべてなくして戦うことができた」。少年女子組手で県勢初の優勝を成し遂げた八頭司明（宮崎第一高）。全6試合で失ったポイントは初戦の3点だけ。抜群の集中力で相手の攻撃をしのぎ接戦を勝ち抜いた。

福岡県出身。中学2年のときに団体優勝を経験し、一つ上の姉・歩（あゆみ）を追って高校の名門宮崎第一に進学。しかし、「ずっとスランプだった」。最後の夏も初戦敗退。「このまま引退するわけにはいかない。国体で思い切って戦おう」と、悔しさを大舞台にぶつけた。

佐藤伊織監督（高城小）は「正直、入賞できればと思っていたが、試合ごとに集中力が高まっていった」。初戦は5―3だったが、2回戦以降は完璧の防御。決勝は、インターハイ団体準優勝の相手と対戦し、終盤に上段突きを決め先制。「守りは得意。あとはどうしのぐか」。最後は技を仕掛け続けて1―0で逃げ切った。

高校入学以降、全国8強以上は初めての経験。高校最後の大舞台で覚醒し、「ゾーンに入ったら負けない」と自ら殻を破った。高校卒業後は宮崎産経大に進み、心技体をさらに磨くつもりだ。（上中園誠）

【空手少年女子組手個人・決勝】県勢初優勝を果たした八頭司明（宮崎第一高）＝岩手県営武道館（琉球新報社提供）

空手

（岩手県営武道館）
▽成・少年男女共通組手団体2回戦
神奈川 3―0 宮崎
○酒井寛 7―3 中島
○名合 3―1 広瀬
○千葉 8―0 棄権
▽少年男子組手個人2回戦
石原雅大（山梨・日本航空高） 3―1 中島郷（宮崎・宮崎第一高）
▽少年女子組手個人1回戦
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 5―3 佐藤稚奈（秋田・能代松陽高）
▽同2回戦
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 4―0 山下ひかり（三重・四日市西郷高）
▽同3回戦
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 5―0 高岡静香（埼玉・花咲徳栄高）
▽同準々決勝
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 1―0 石谷郁香（神奈川・光明学園相模原高）
▽同準決勝
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 0―0 判定勝ち 相内美空（千葉・拓大紅陵高）
▽同決勝
八頭司明（宮崎・宮崎第一高） 1―0 角優里（静岡・御殿場西高）

エース欠き敗退

○…女子1人を含む5人で戦う団体戦。3年連続の入賞を狙った県選抜は、初戦の2回戦で神奈川に敗退。エース西村拳（近大、宮崎第一高出）が前日の個人戦で負傷したため、4人での戦いを余儀なくされた。

先鋒（せんぽう）の中島郷（宮崎第一高）は「引き分けでも負ける状況。絶対に勝たなければ」と強い気持ちで試合に臨み、0―4の残り3秒。3点技の上段蹴りを決め逆転を狙ったが、及ばなかった。

新聞掲載

宮崎日日新聞（10月10日掲載）

平成28年10月9日（日）。岩手県盛岡市の県営武道館で行われた「2016希望郷いわて国体・空手競技少年女子組手」にて、本校の八頭司明さん（普通科3年・福岡市立玄洋中学校出身）が優勝しました。

日頃の厳しい練習の成果を十分に発揮し、勝利への執念と仲間たちの声援によって掴んだ素晴らしい結果となりました。